学年：　テキスト：　Lesson：　Section：　Page：

指導項目：不定詞１（不定詞の基本三用法）　No：　48

指導コメント	板書指導実例

英文中に to+動詞の原形 が出てきたら条件反射的に線を引かせる。

1 不定詞の基本

① 不定詞のかたち → to ＋ 動詞の原形

（例文１） I went to the park to read books.
↓ 不定詞ではない　↓ ここが、不定詞！

不定詞の基本三用法をひとまとめで、図示すること。特に［　］内のキーワードに注意させる！各用法をばらばらに説明すると理解は難しい。

② 不定詞の意味（三つ用法→三つの訳し方）

A. 名詞的用法「～すること」

(1) 文の主語になる

（例文２） To read books ／ is very interesting.
「本を読むことは」 → 主語

名詞的用法判別のキーワードをヒントにし各レベルに合わせて、必要な動詞のみを選んで提示する。

(2) 次の動詞の後に来る不定詞（キーワード）

want／hope／wish	＋	to ～	～することを希望する⇨ ～したい
like	＋	to ～	～することを好きだ
begin／start	＋	to ～	～することを始める⇨ ～し始める

（例文３） I **want** to read many books.
「読むことを」

B. 形容詞的用法「～するための・～すべき」

形容詞的用法のキーワードをヒントにし各レベルに合わせて、必要な名詞のみを選んで提示する。

(1) 次の名詞の後に来る不定詞 （キーワード）

things／something／anything／nothing	＋	to ～	「～するための」
no one／someone／anyone	＋	to ～	
time／homework／work／way	＋	to ～	
plan／place …	＋	to ～	

（例文４） I have a lot of **homework** to do today.
「するための」

C. 副詞的用法

副詞的用法・目的は、文脈の内容から判断させる Why ～？ に対する答えとしての To ～ は、副詞的用法。

(1) 目的「～するために」⇒ 文の内容から判断する

why ～ ？ → To ～ ． 「～するために」

（例文５） **Why** will you go to Tokyo ？ → To meet my friends.
「会うために」

副詞的用法判別のキーワードをヒントにし各レベルに合わせて、必要な形容詞のみを選んで提示する。

(2) 原因・理由 「～して・～することができて」

I'm	happy／glad／delighted sad／sorry／surprised …	＋	to ～

（キーワード） 「～して・～できて」

（例文６） He is very **happy** to hear the news.
「聞いて」